

2024年6月期

決算説明資料

前田工織株式会社

東証プライム:7821

目次

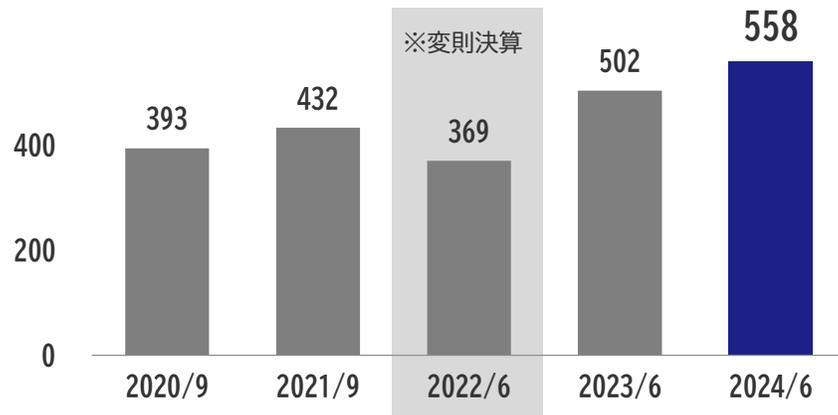
1. 2024年6月期決算の概要	3
2. セグメント別決算概要	9
3. 財務の状況	14
4. 2024年6月期 TOPICS	22
5. 2025年6月期 業績予想	29
6. MDKグループ中長期ビジョン グローバルビジョン [∞] -PART II-	35
7. 会社概要	46



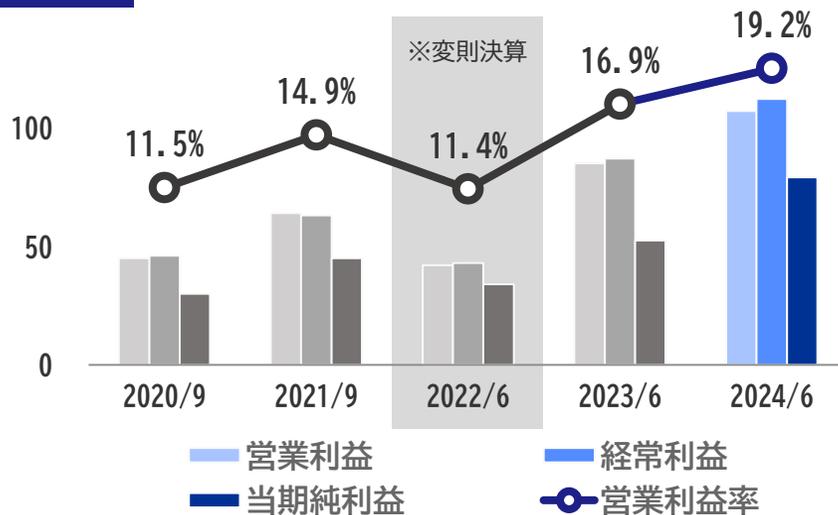
1 2024年6月期 決算の概要

連結決算サマリ

売上高

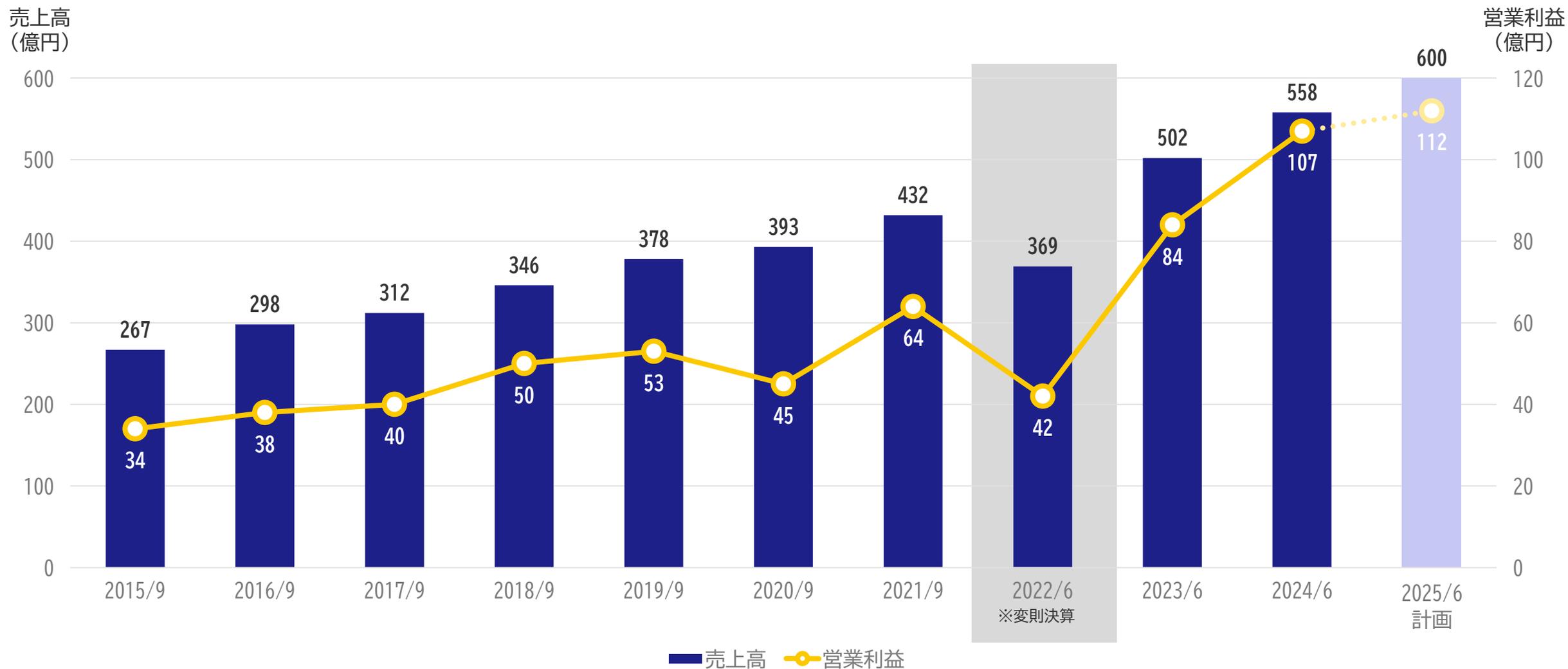


利益



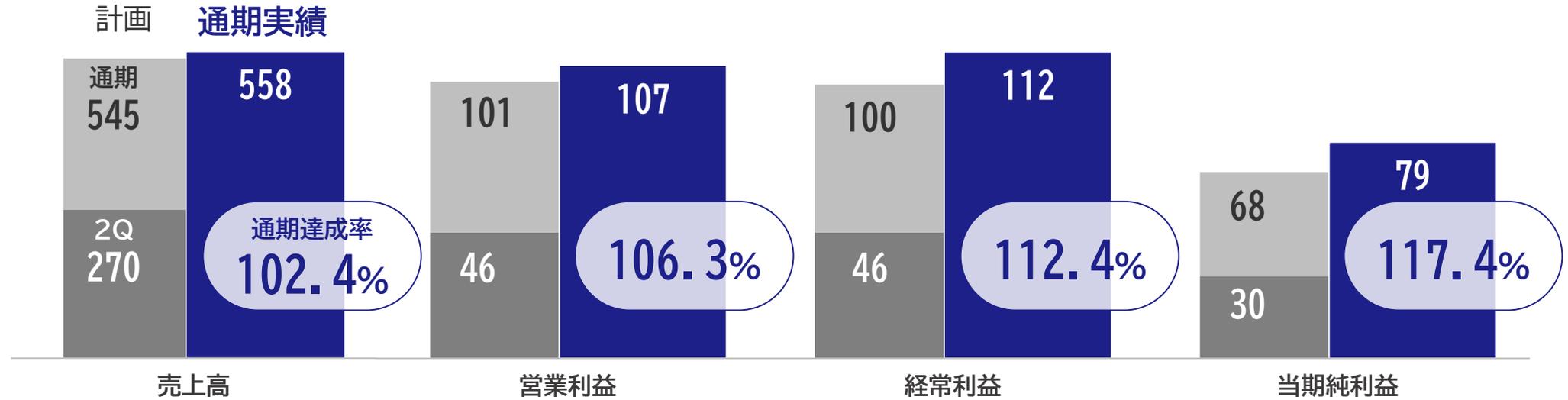
	2023年6月期		2024年6月期		
	実績	売上比	実績	売上比	前期比
売上高	502	—	558	—	+ 11.2 %
営業利益	84	16.9 %	107	19.2 %	+ 26.4 %
E B I T D A	116	23.3 %	141	25.3 %	+ 20.7 %
減価償却費	31	6.4 %	33	6.0 %	+ 5.7 %
経常利益	86	17.3 %	112	20.1 %	+ 29.3 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	52	10.5 %	79	14.3 %	+ 51.8 %

連結業績推移(売上高・営業利益)



※決算期変更の経過期間となるため、2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間です。

計画と実績値との比較



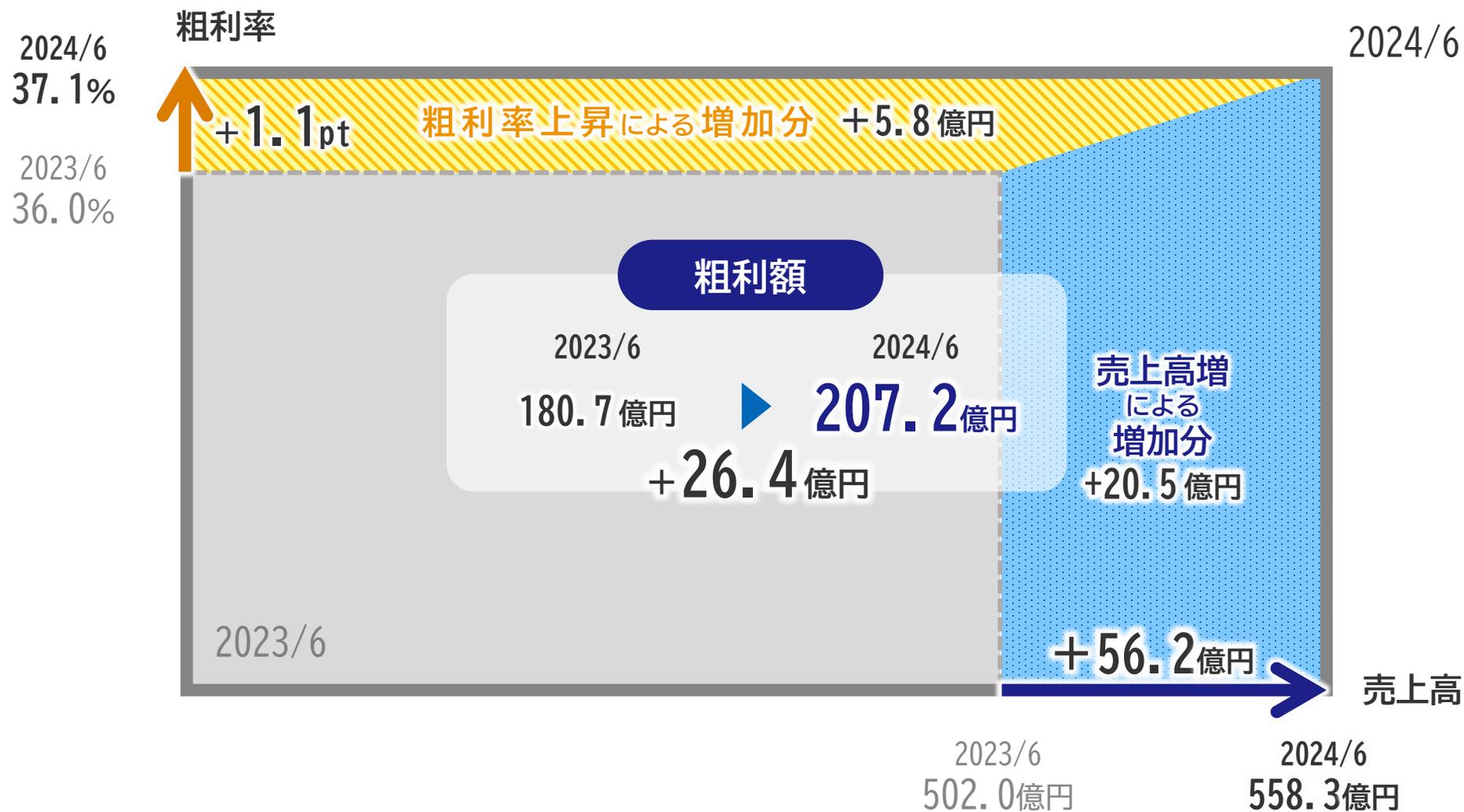
	計画	実績	計画達成率
売上高	545	558	102.4%
営業利益	101	107	106.3%
E B I T D A ※ 1	134	141	105.3%
経常利益	100	112	112.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	68	79	117.4%

※1：E B I T D A = 営業利益 + 減価償却費 + のれんの償却額

※2：2024年2月14日付で通期計画を上方修正しております。

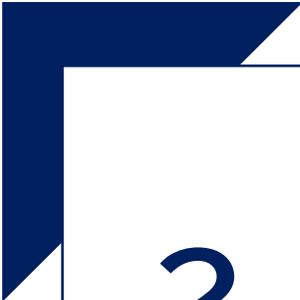


粗利益の増減要因



営業利益の増減要因





2

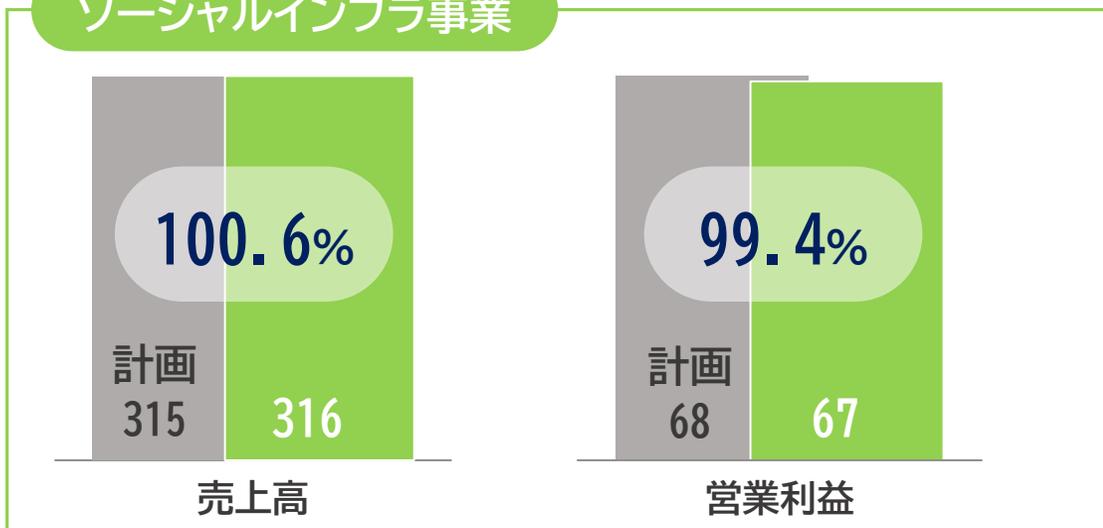
セグメント別決算概要

セグメント別決算概要

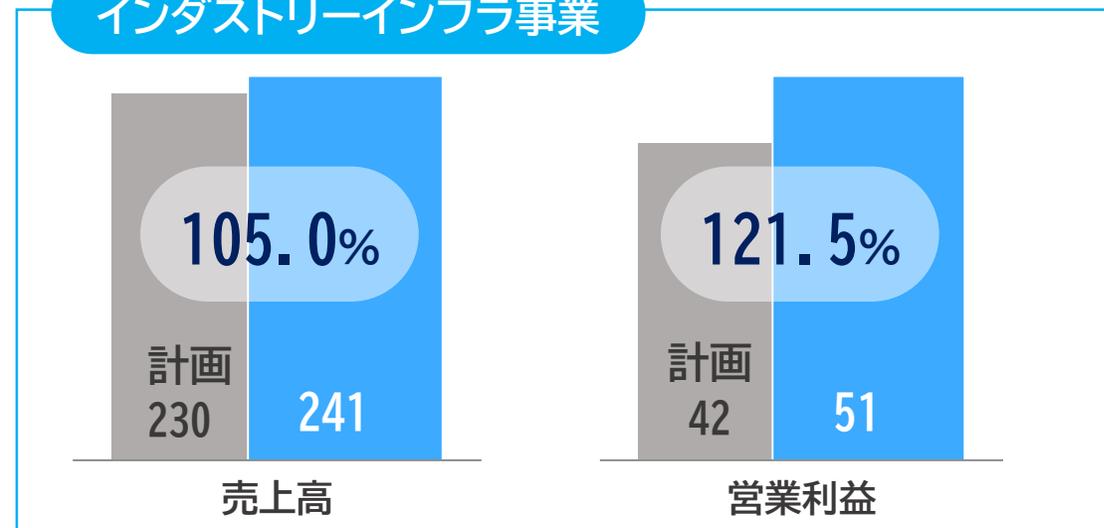
		2023年6月期 実績			2024年6月期 実績			
		金額	営業利益率	構成比	金額	営業利益率	構成比	前期比増減率
売上高	ソーシャル インフラ事業	301		60.1%	316		56.8%	+ 5.1%
	インダストリー インフラ事業	200		39.9%	241		43.2%	+ 20.4%
	合計	502		100.0%	558		100.0%	+ 11.2%
営業利益	ソーシャル インフラ事業	64	21.4%	67.5%	67	21.3%	57.0%	+ 4.9%
	インダストリー インフラ事業	30	15.5%	32.5%	51	21.1%	43.0%	+ 64.6%
	小計	95	—	100.0%	118	—	100.0%	+ 24.3%
	全社・消去	△ 10	—	—	△ 11	—	—	—
	合計	84	16.9%	—	107	19.2%	—	+ 26.4%

セグメント別計画に対する達成率

ソーシャルインフラ事業



インダストリーインフラ事業

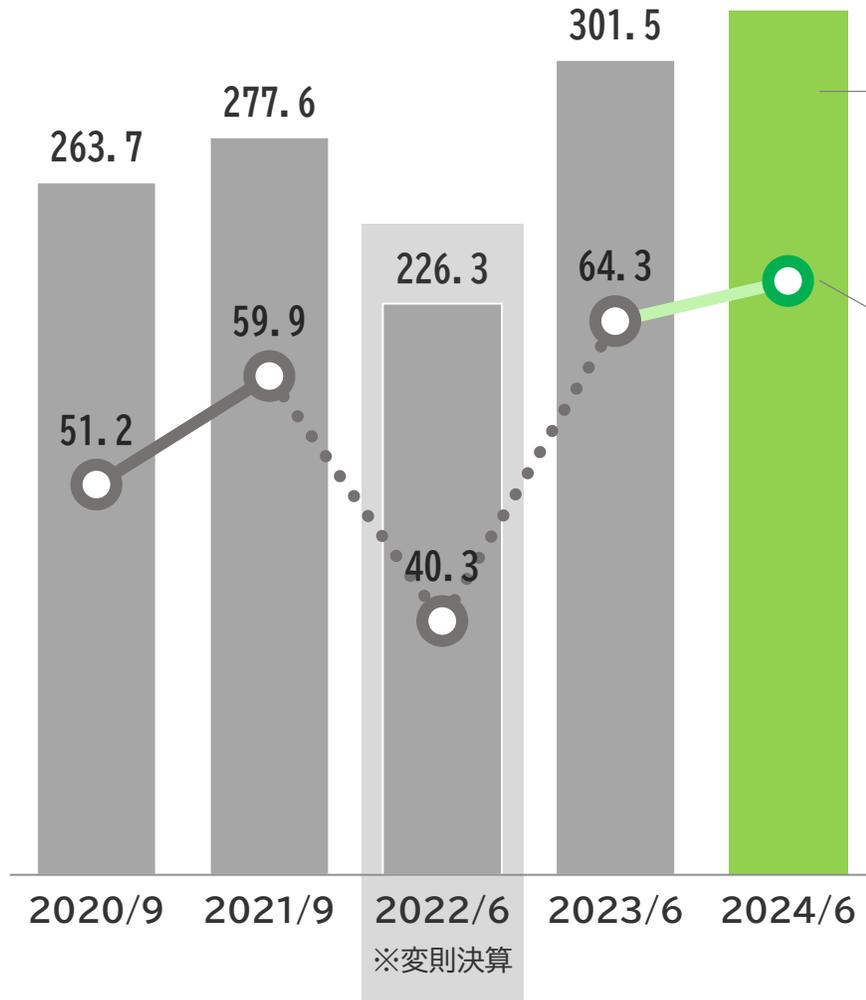


2024年6月期

		計画	実績	達成率		計画	実績	達成率
ソーシャルインフラ事業	売上高	315	316	100.6 %	営業利益	68	67	99.4 %
インダストリーインフラ事業		230	241	105.0 %		42	51	121.5 %
全社・消去						△ 9	△ 11	—
合計		545	558	102.4 %		101	107	106.3 %



セグメント別業績概況－ソーシャルインフラ事業



売上高
316.8億円

営業利益
67.5億円

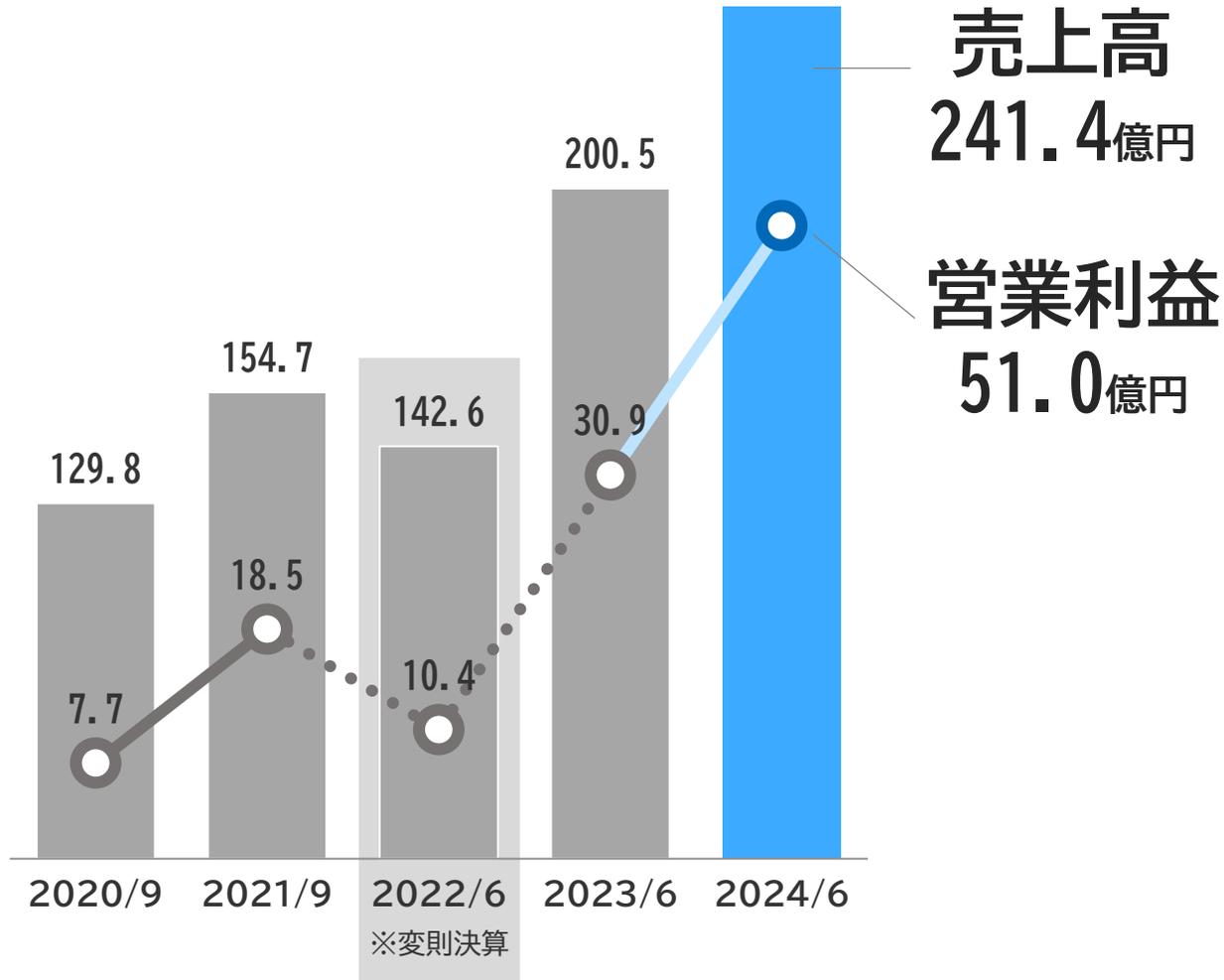
プラス要因

- ソーシャルインフラ事業全体は好調。
- 売上高、利益とも主力の公共事業関連資材が順調に推移した。
- 農業資材のうち、鳥獣害対策事業(電気柵事業)は順調に推移した。
- 各子会社とも、原材料費等の高騰はあったが、値上げ効果により業績は順調。

マイナス要因

- 不織布事業において、新規事業(メディカル、自動車、ワイパー)の進捗が遅く、計画未達となった。⇒来期以降改善傾向
- 農業資材のうち、ハウス事業は案件進捗悪く、計画未達となった。

セグメント別業績概況ーインダストリーインフラ事業

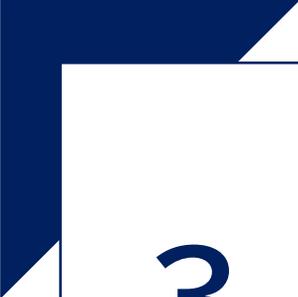


プラス要因

- BBS事業において、国内・国外ともOEMの需要が高く、業績は好調に推移した。
- 特に、BBSドイツの業績は大型案件の寄与により計画を大きく上回った。
- 未来コーセンでは値上げ効果により、下半期の業績は回復した。

マイナス要因

- 未来コーセンにおいて、加工系については取引先の在庫調整もあり、受注減となった。

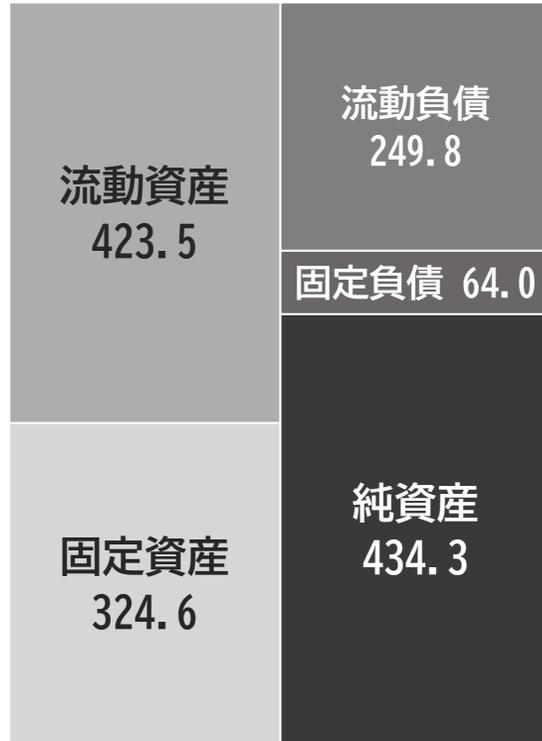


3

財務の状況

財政状態

2023/6 期末
総資産 **748.2**億円



資産

負債・純資産

2024/6 期末
総資産 **802.4**億円



資産

負債・純資産

強固な財務基盤

→ 機動的な投資が可能
 万一のリスクにも対応できる
 十分な体力を保持

自己資本比率
77.8%

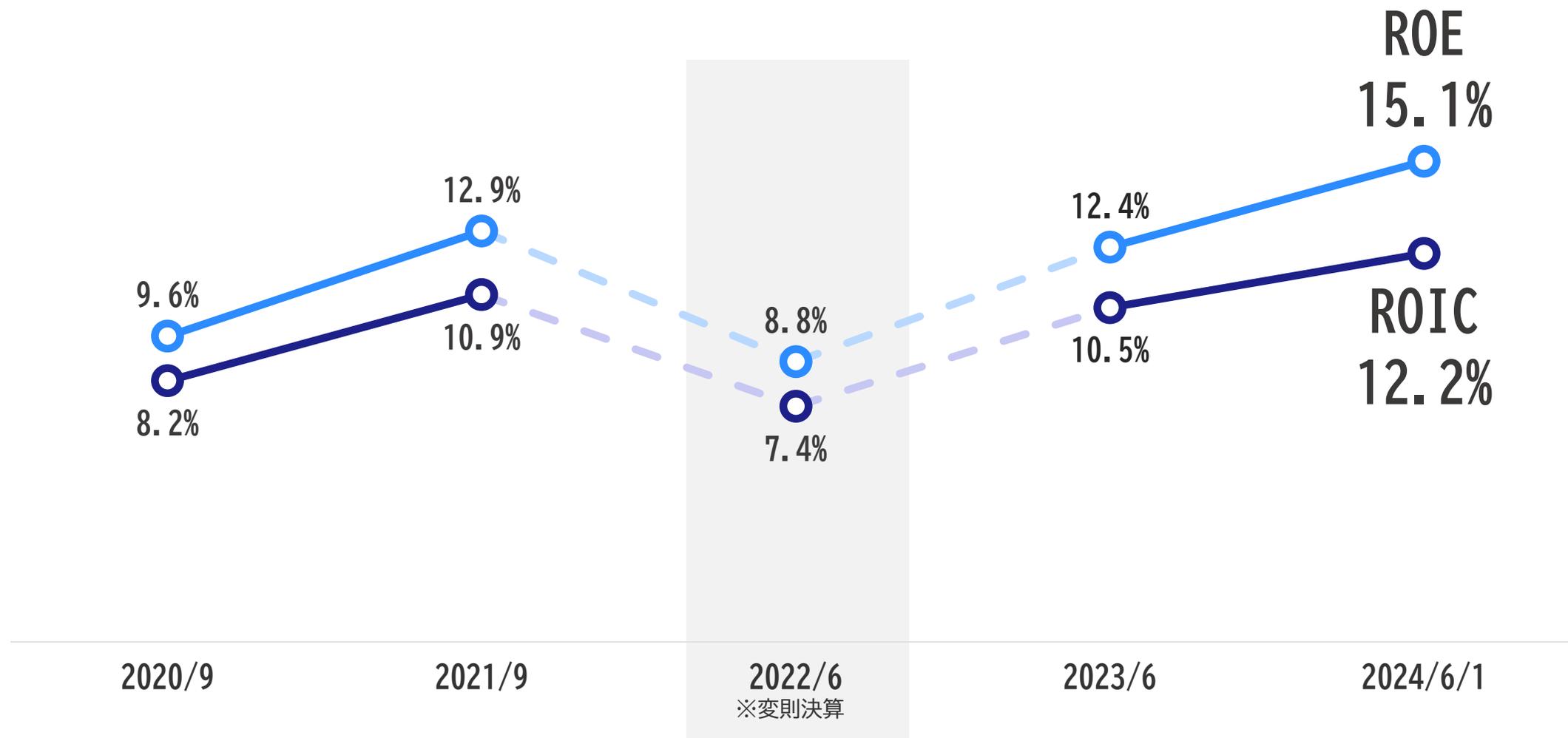


株主資本
607.3億円

純資産内訳

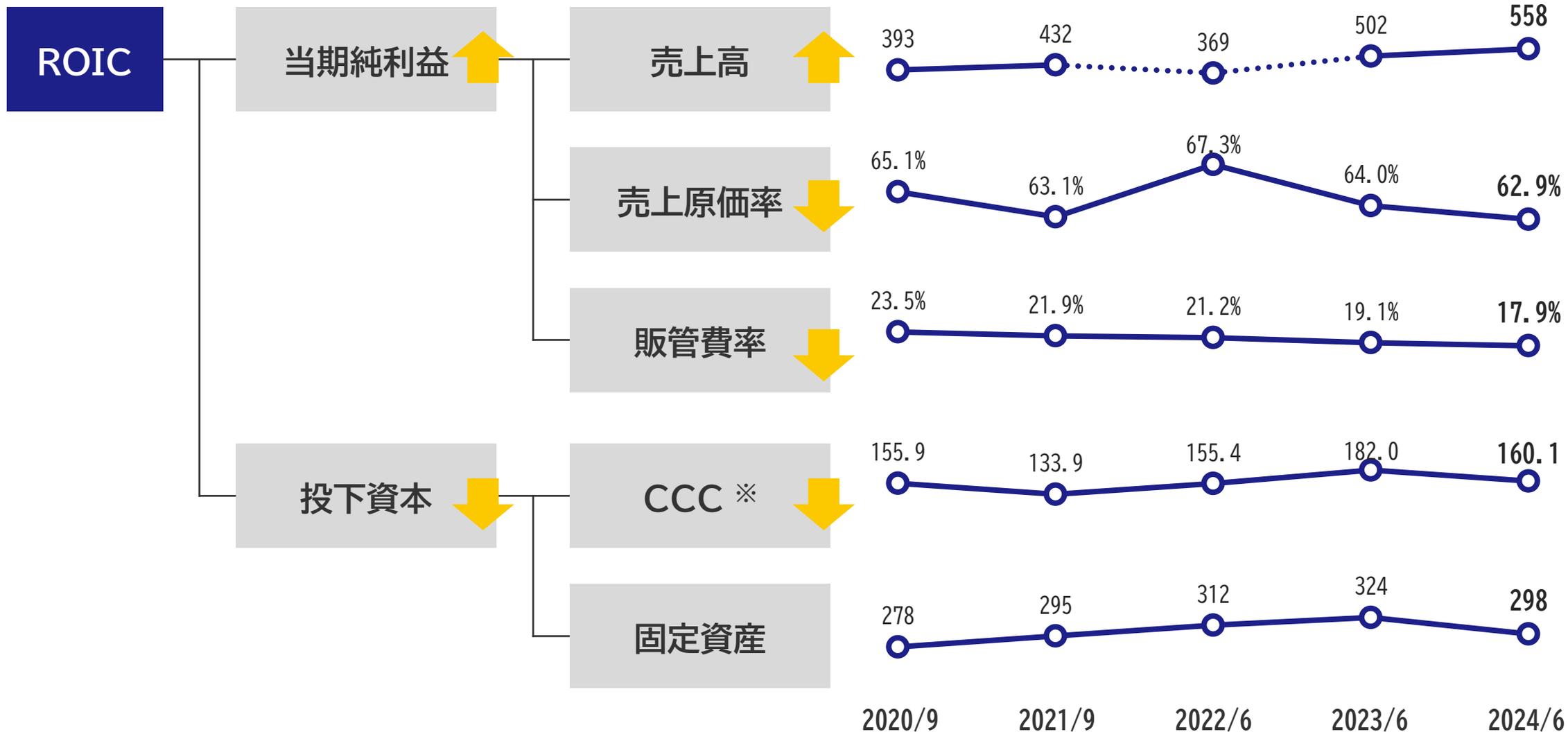


経営指標 – ROE・ROIC推移



 ※決算期変更の経過期間となるため、2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間です。

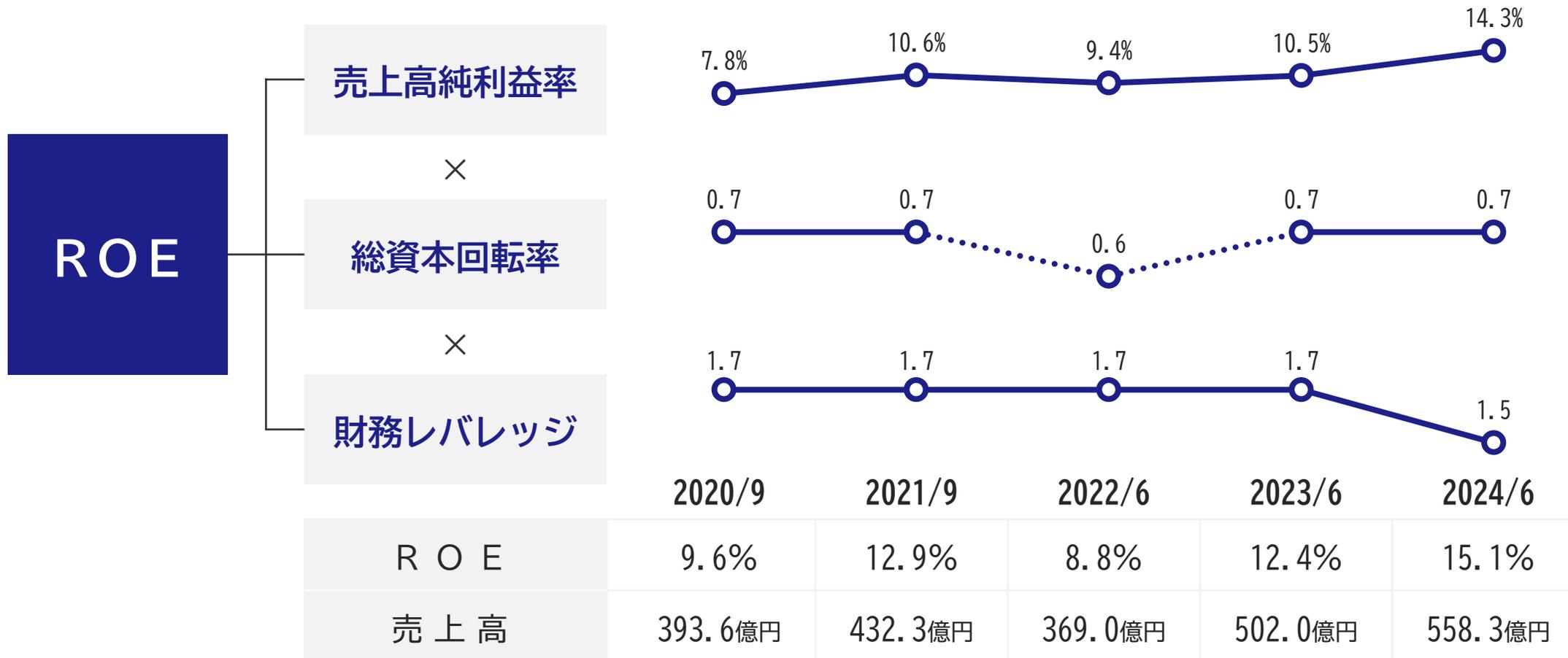
ROICの分析



※CCC(キャッシュ・コンバージョン・サイクル):仕入代金の支払から売上代金の回収までの期間(単位:日)

※変則決算

ROEの分析

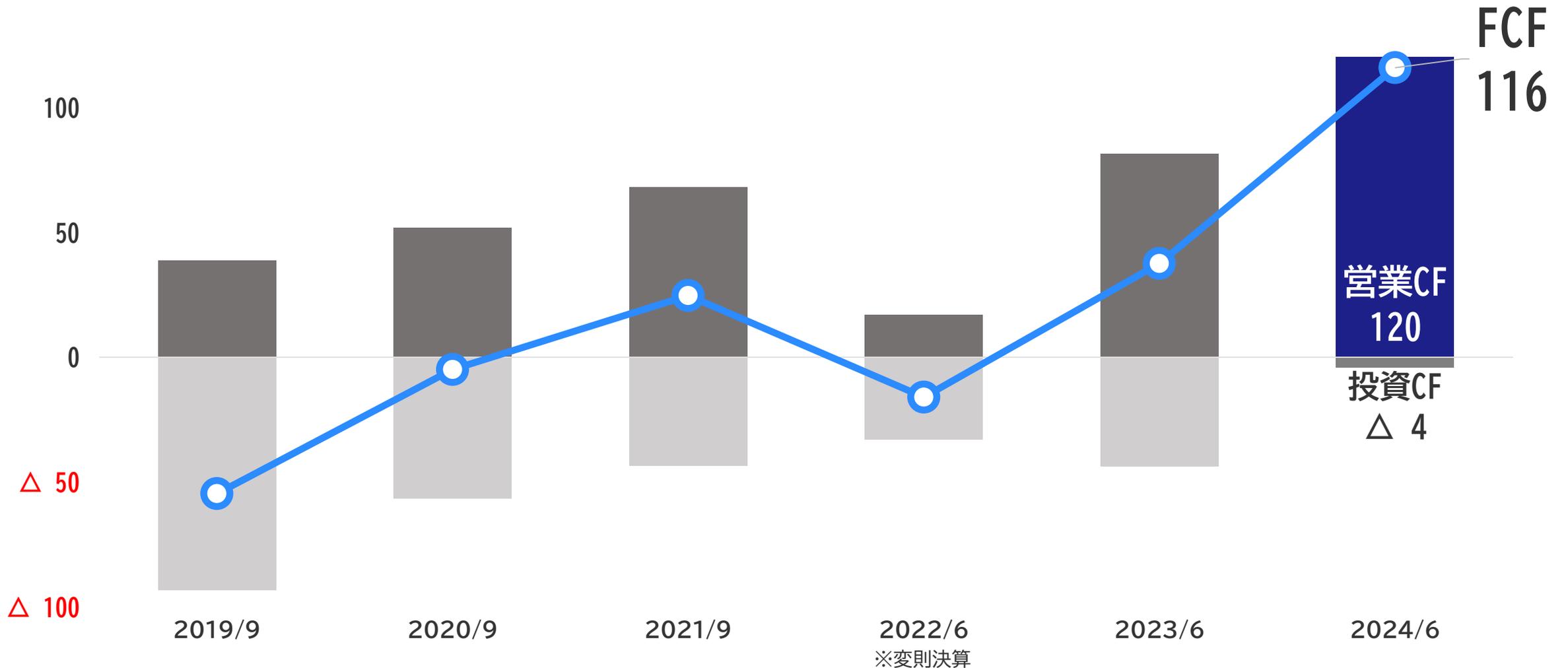


※変則決算

非常に高い財務安定性を維持しながらも、高水準のROEを維持
 → **利益率の高さ**に起因



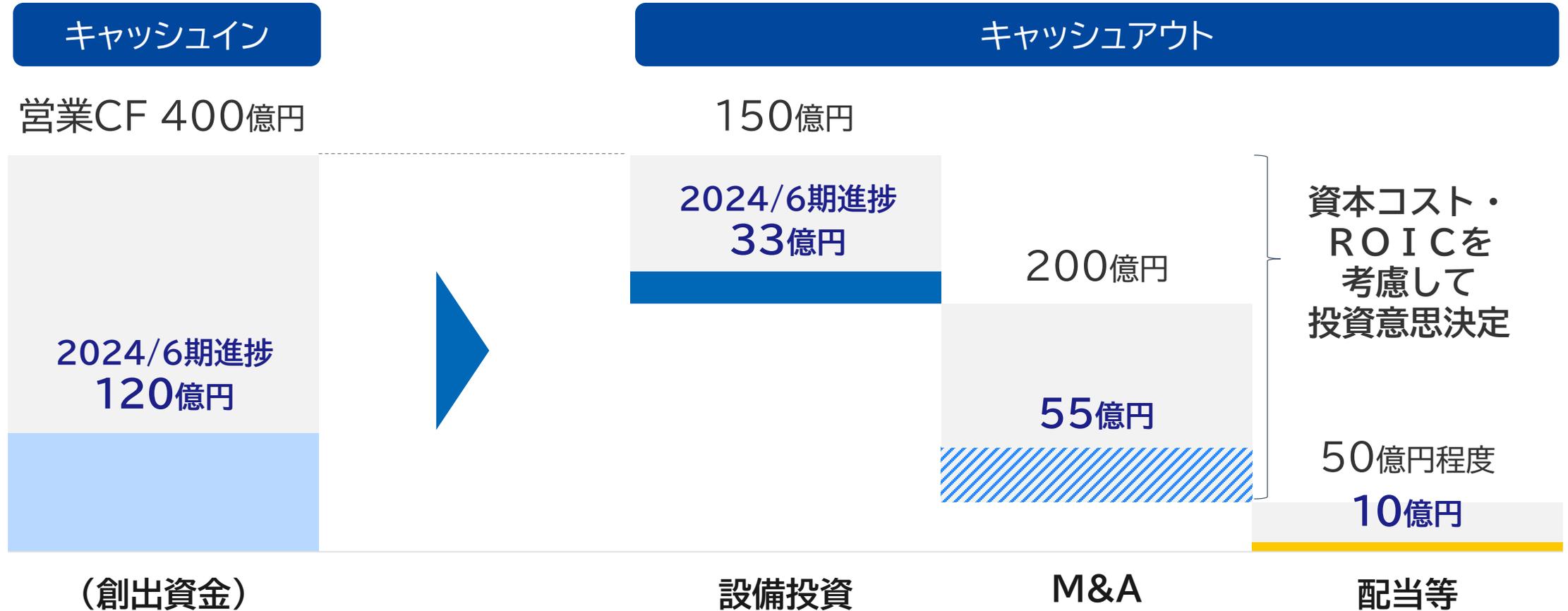
経営指標 – フリーキャッシュフロー(FCF)推移



※フリーキャッシュフロー=営業活動によるキャッシュ・フロー-投資活動によるキャッシュ・フロー
※決算期変更の経過期間となるため、2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間です。

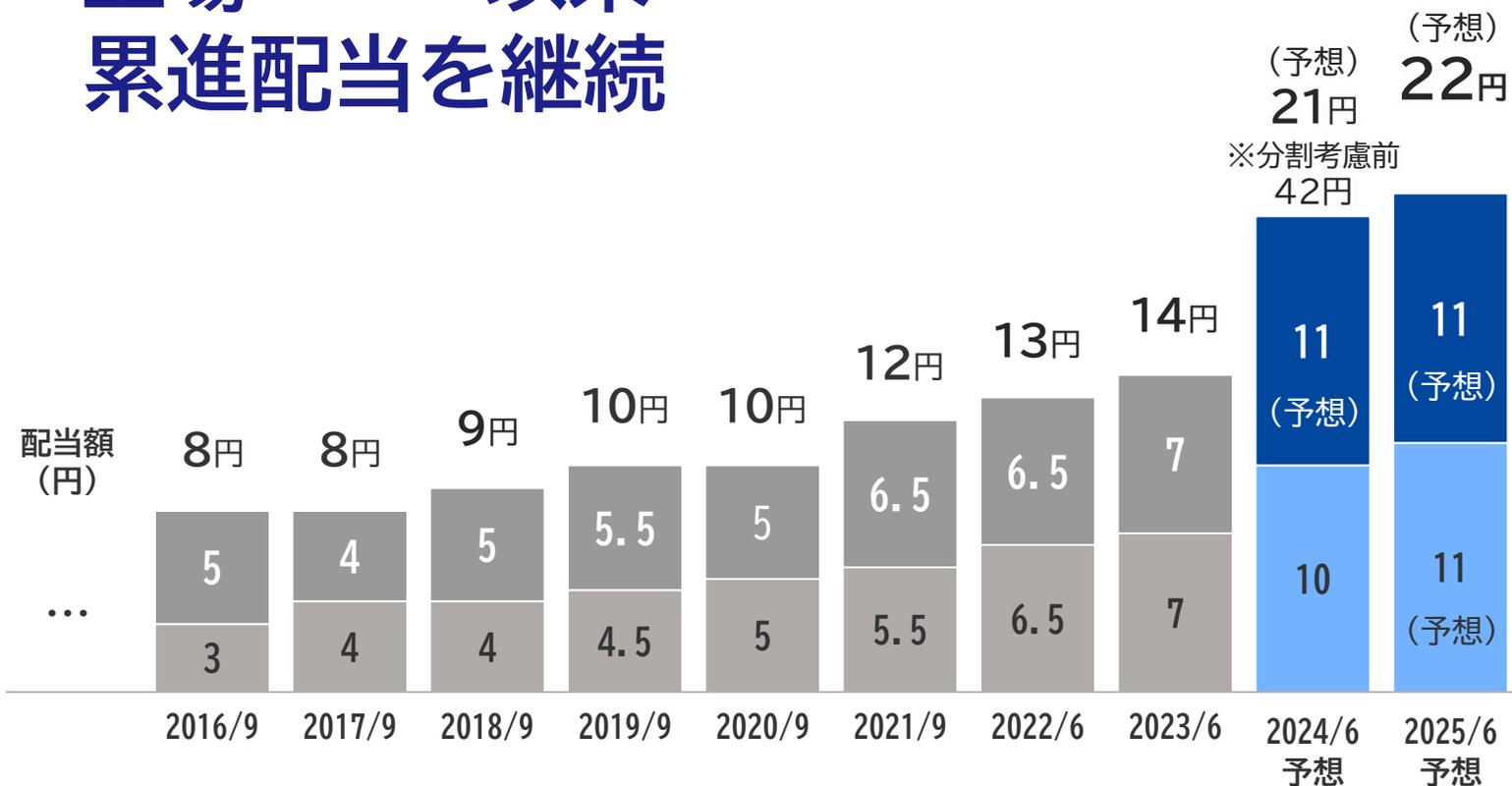
キャッシュアロケーション

中計PART-II-期間(2024年6月期~2027年6月期)合計額(見込み)に対する進捗



株主還元策(配当)

上場(2007年)以来 累進配当を継続



2024

中間	10円 (前年比+ 3円)
期末予想	11円 (前年比+ 4円)
通期予想	21円 (前年比+ 7円)

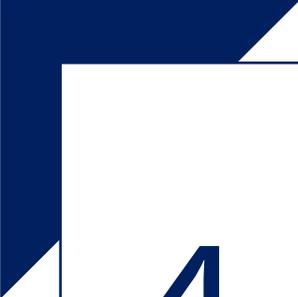
2025

中間予想	11円 (前年比+ 1円)
期末予想	11円 (前年比+ 0円)
通期予想	22円 (前年比+ 1円)



※決算期変更の経過期間となるため、2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間です。

※当社は2024年7月1日をもって1株につき2株の割合で株式を分割しており、配当額については分割考慮後の金額で記載しております。



4 2024年6月期 TOPICS

2024年満期工一口円建轉換社債型新株予約権付社債

轉換期限 2024年4月4日

発行額面金額 120億円

▶ 全額轉換完了

	51期末(轉換前)	52期末(全額轉換後)
発行済株式総数	32,260,200 株	34,040,306 株
自己資本	433 億円	624 億円
総資産	748 億円	802 億円
自己資本比率	58.0 %	77.8 %
当期純利益	52 億円	79 億円
R O E	12.4 %	15.1 %

株式の分割

流動性向上を目的として**1株につき2株の割合**で株式分割を実施

● 株式数

分割前	発行済株式総数	34,040,306 株	2分割
	↓	分割により増加した株式数	
分割後	発行済株式総数	68,080,612 株	
	発行可能株式総数	155,000,000 株	

● 日程

基準日	2024年6月30日（日）
効力発生日	2024年7月1日（月）

株式譲渡契約の締結(三井化学産資株式会社)

契約締結日	2024年6月26日(水)		
事業内容	合成樹脂製品の製造、加工及び販売 土木資材、建築資材及び配管資材の製造、加工及び販売		
従業員数	182名(2024年6月1日現在)	設立年月日	1964年10月1日
資本金	400百万円	大株主及び持株比率	三井化学株式会社 100%
子会社化の目的	1. 土木資材製品のラインアップ拡充と事業規模拡大 2. 事業分野の拡大(点字タイル等の建築資材、配管資材) 3. 両社の樹脂・繊維の加工技術を混ぜることでの新商品開発		
クロージング予定日	2025年4月1日(火)	※会社名は変更予定	

三井化学産資(株)の事業セグメント

環境ソリューション事業部

土木資材部

ジオグリッド、ジオネット、ジオテキスタイル、
板状・管状排水材、路盤補強資材、
ジオチューブ、ジオシェルトン 他

建築資材部

建設・コーティング資材グループ

防食材、塗床材、点字タイル、グラウト材 他

住宅資材グループ

FRP防水材、木材保護塗料、ウレタンフォーム断熱材

ライフライン ソリューション事業部

ガスパイプ部

PEガス導管システム

エルメックス部

給水給湯・消火配管システム

事業セグメントごとの主な製品

テンサー (地盤・盛土補強材)



一軸テンサー (RE,SR)

力の作用方向により、一軸延伸タイプ、二軸延伸タイプを使い分ける。



二軸テンサー (SS,GM)

点字タイル (視覚障害者用標識)



リマスター (FRP防水材)



ガスパイプ

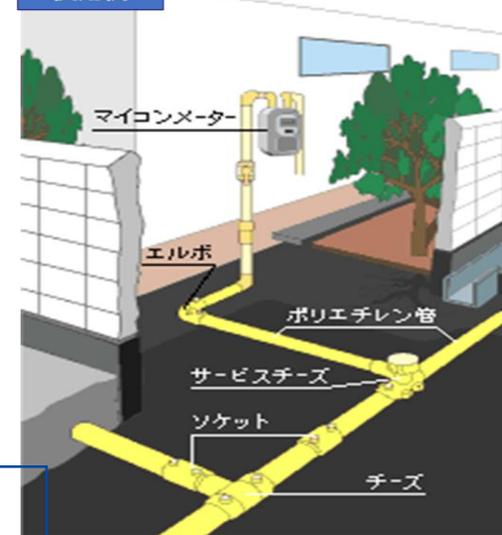


ガスEF継手



PEガス導管システム(パイプ・EF継手)

使用例



M&Aの活用・・・引続き有効な成長戦略として実行する

4か年間で**200億円**のM&A投資枠を設定、M&Aの実現で成長を加速

M&A方針

Target 原則「モノづくり」の会社、特別な技術・製品がある会社

PMI 凡事徹底 × 「混ぜる」

重点領域

既存事業の強化

新規事業の創出

既存事業同業

土木・建築資材、鳥獣害対策、園芸用ハウス、ブランド力を有する自動車部品

既存事業周辺

土木工事(法面、橋梁メンテナンス)、土木建築関連・農業関連資材、繊維関連製品

新規事業

ニッチトップ企業、官公庁関係向け事業、ヘルスケア、スポーツ、ペット用品

海外

土木・建築資材、ASEAN

- 生産現場の整理整頓・安全対策
- 適切な設備投資
- 継続的な生産改善活動
- 数値・成果の見える化
- 月次会議体制の整備
- 経営人材の提供

親子関係ではなく
対等なパートナー
として協力関係
を構築

グループの
人、モノづくり、
技術、ネットワーク
を「混ぜる」



5 2025年6月期 業績予想

2025年6月期業績見通し

◎全 社

- ・新中期経営計画(4年間)の2年度として、引き続き **主要施策の浸透を図る。**
- ・新規設備投資による**生産体制の強化**
- ・成長戦略としての**M&A**による既存事業の強化と新規事業拡大
- ・資本コストを意識した**企業価値向上に向けた取組の実践**

◎ソーシャルインフラ事業

- ・公共工事・・・再生エネルギー、国土強靱化製品等 **新分野への進出**
- ・各子会社・・・事業の拡大・強化、ネットワークの充実による**収益増強**

◎インダストリーインフラ事業

- ・BBS・・・国内外におけるホイールの大型化・次世代自動車向け製品の**企画・製造・販売強化**
- ・未来コーセン・・・値上げと原価低減に向けた**損益改善活動の定着**



業績予想(連結)

	2024年6月期 実績		2025年6月期			
	2Q	通期	2Q計画		通期計画	
			金額	前期比増減率	金額	前期比増減率
売上高	284	558	310	+ 9.0 %	600	+ 7.5 %
営業利益	56	107	60	+ 6.0 %	112	+ 4.3 %
E B I T D A	72	141	76	+ 5.1 %	145	+ 2.8 %
経常利益	54	112	60	+ 9.6 %	112	—
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	37	79	42	+ 11.7 %	77	△ 3.5 %

業績予想(セグメント別)

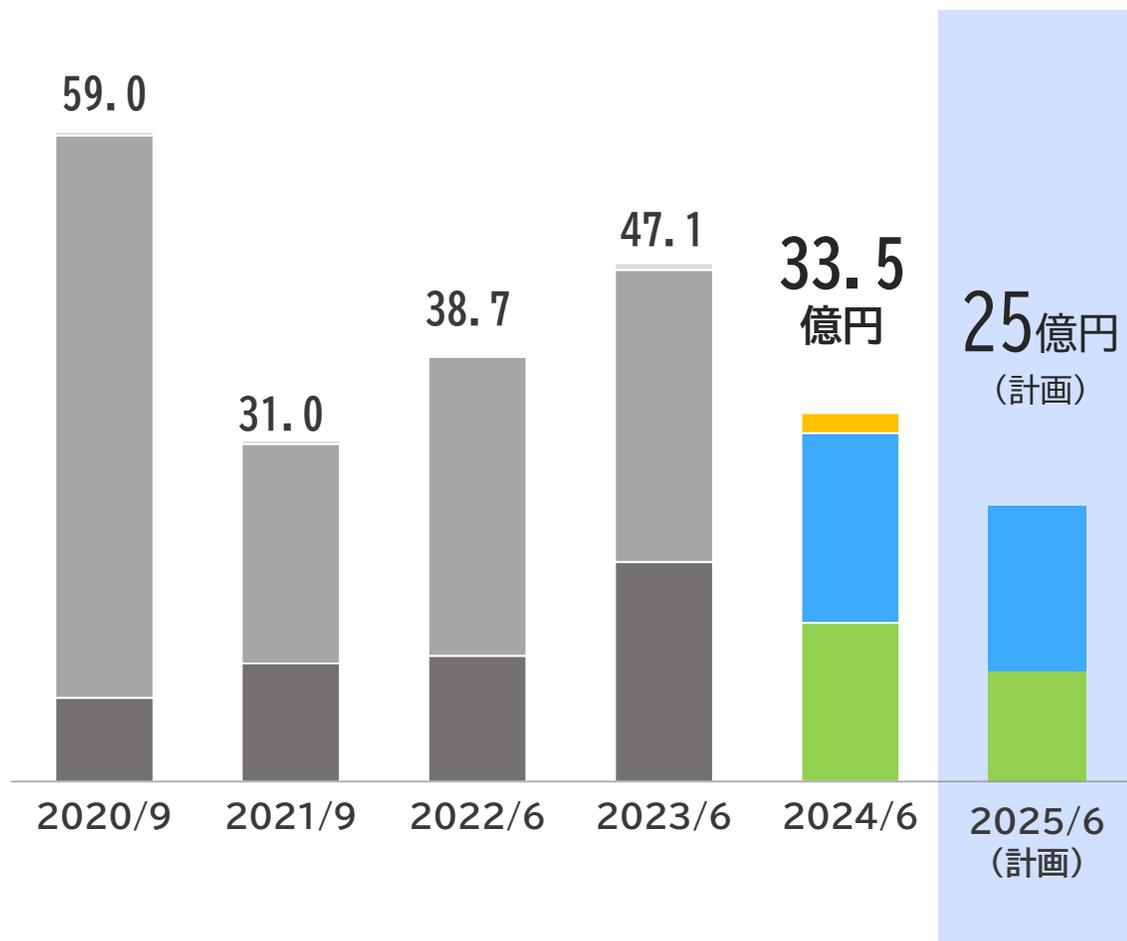
		2024年6月期 通期実績	2025年6月期	
			通期計画	増減率
ソーシャル インフラ事業	売上高	316	345	+ 8.9%
	営業利益	67	69	+ 2.1%
インダストリー インフラ事業	売上高	241	255	+ 5.6%
	営業利益	51	55	+ 7.8%
全社・消去	営業利益	△ 11	△ 12	-
合計	売上高	558	600	+ 7.5%
	営業利益	107	112	+ 4.3%

設備投資額・減価償却費予想

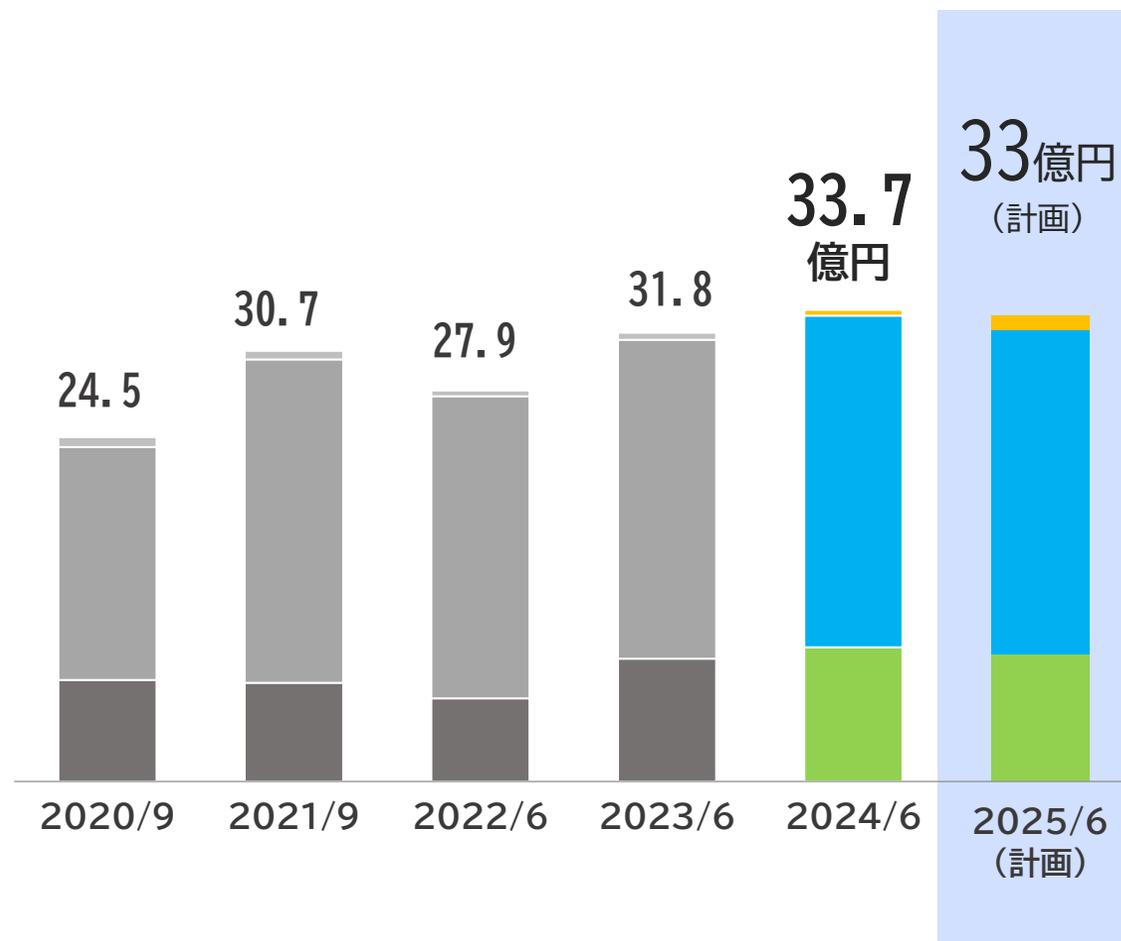
(単位:億円)



設備投資額

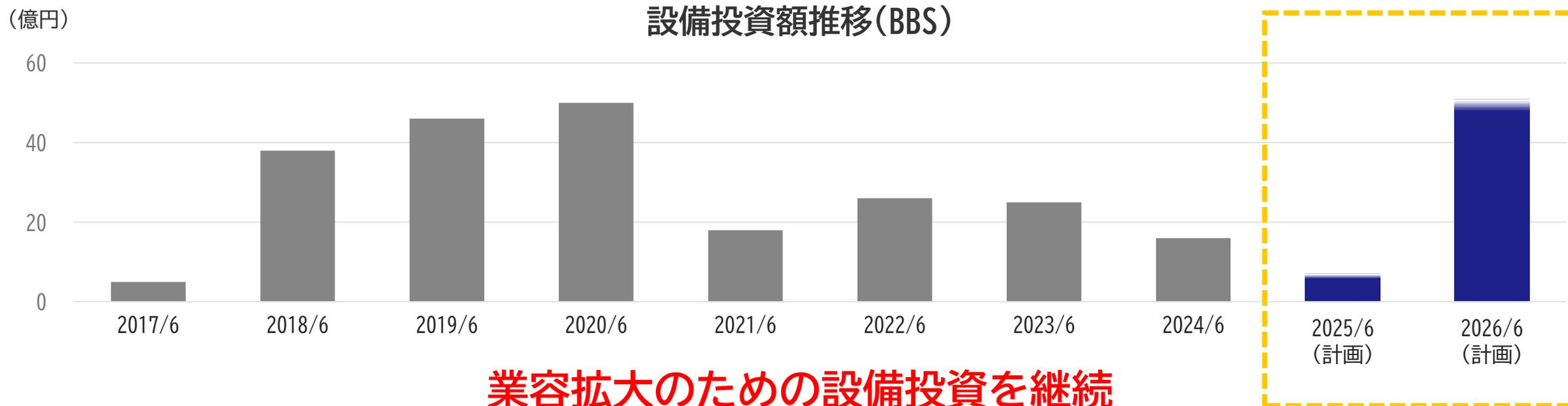


減価償却費



※2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間です。

ホイール事業 設備投資



TOPICS

経済産業省「中堅・中小企業成長投資補助金」採択案件

事業テーマ：プレミアムホイールのグローバル拡大に向けた生産能力増強プラン

↳ 「経営力」、「先進性・成長性」、「地域への波及効果」等の観点から審査

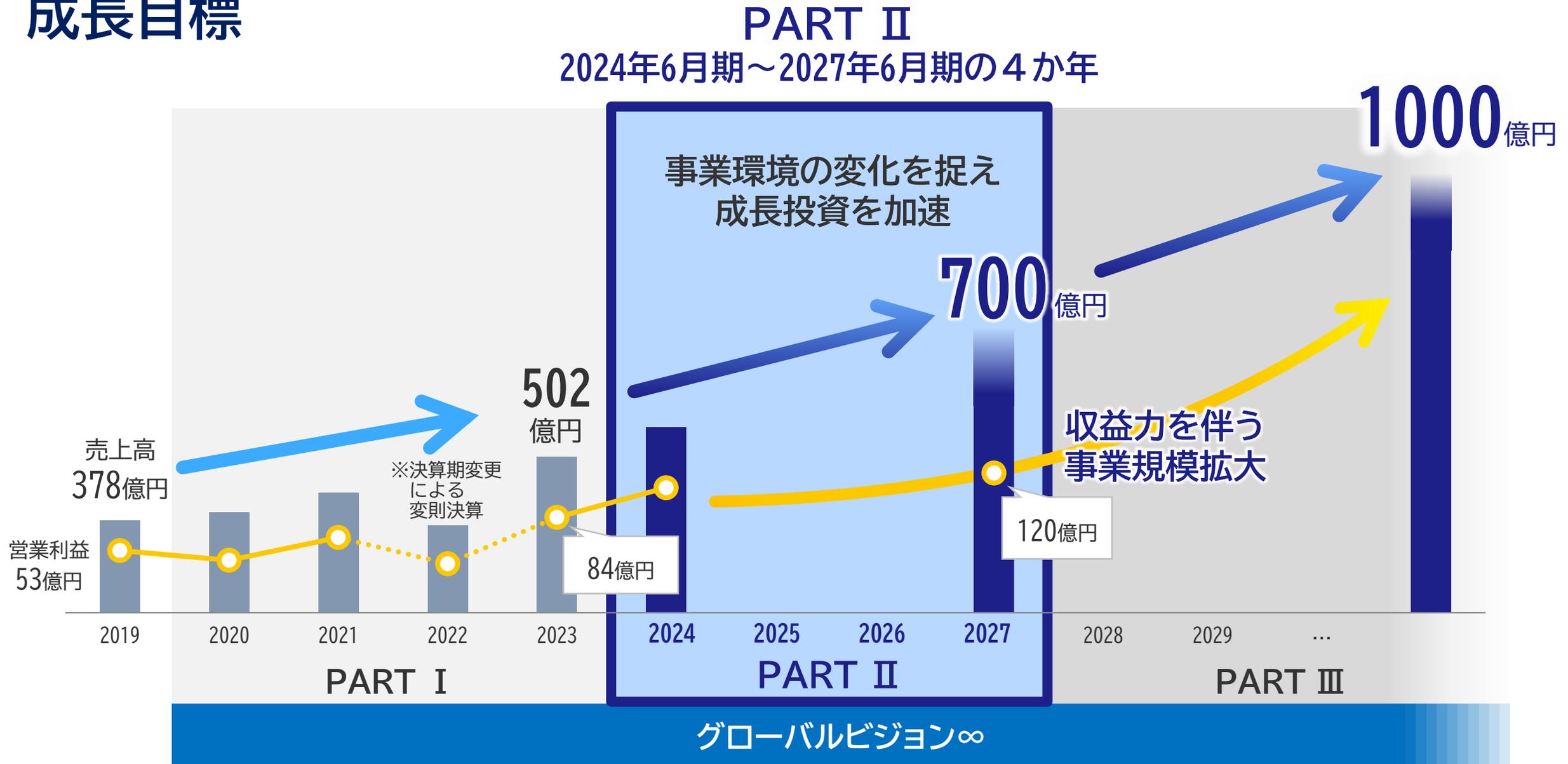
MDKグループ中長期ビジョン

6

グローバルビジョン∞

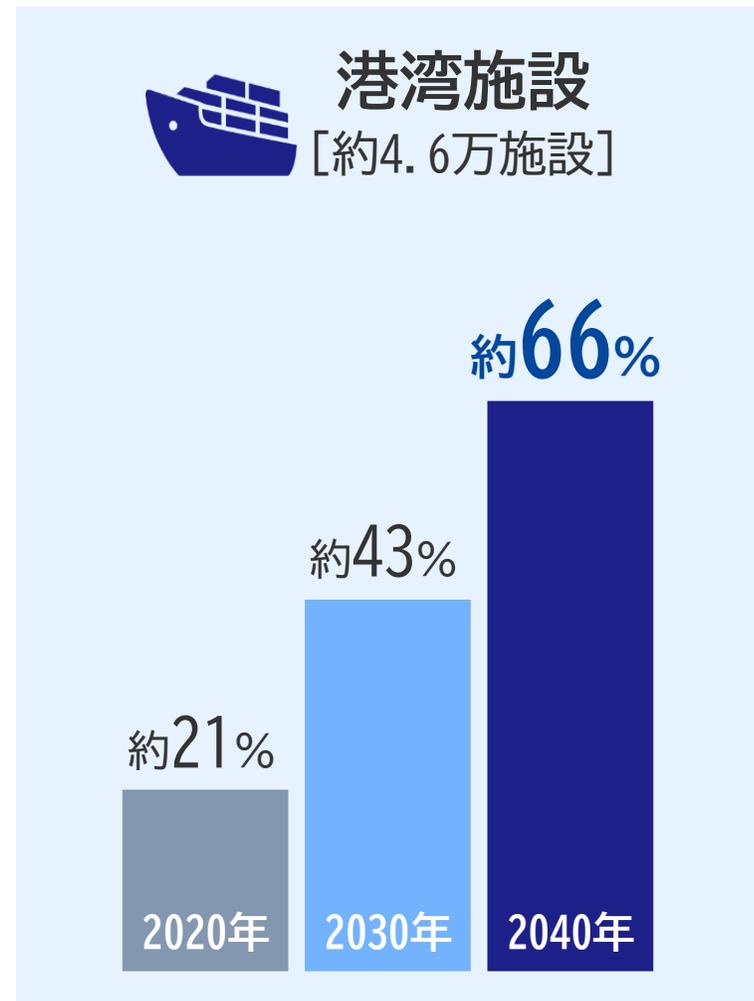
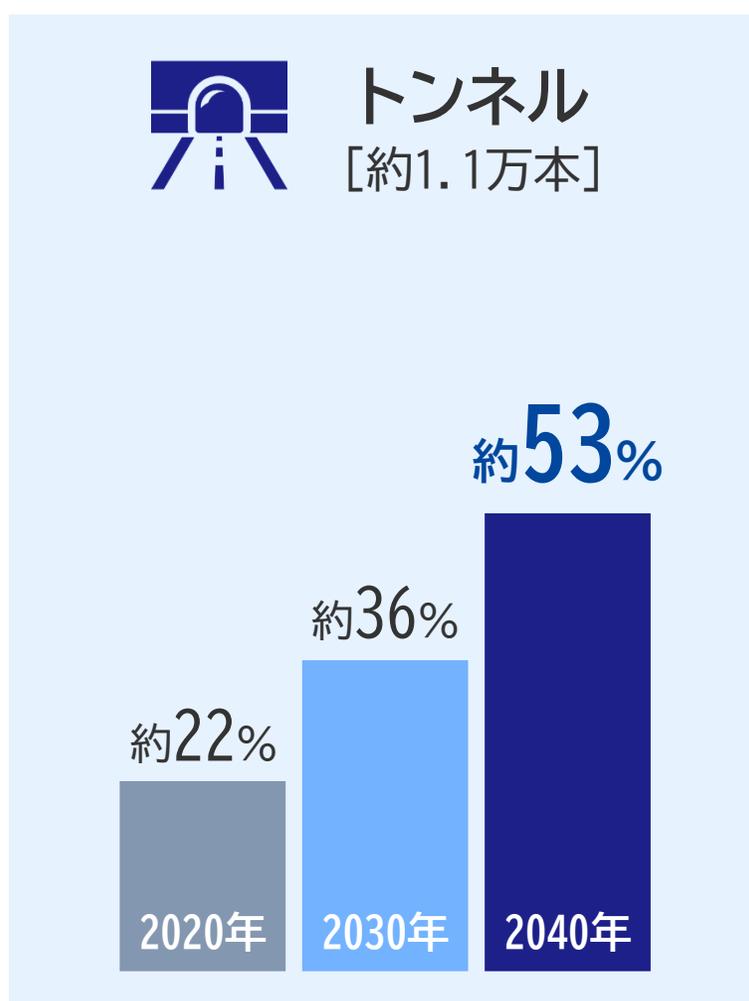
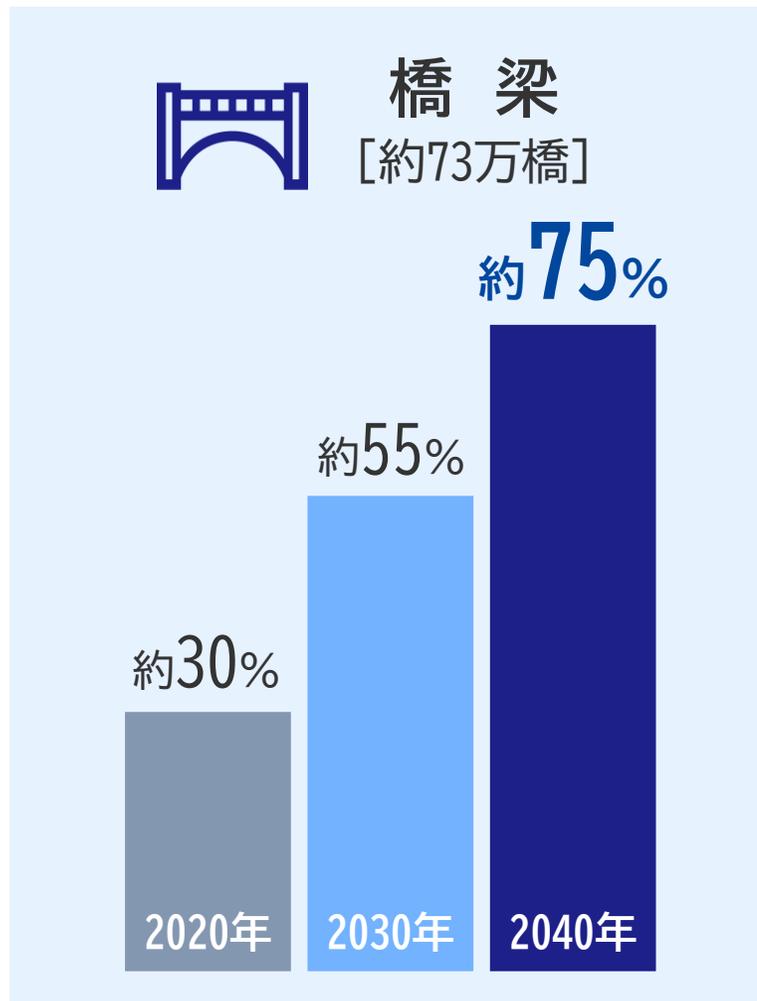
- PART II -

成長目標



ソーシャルインフラ事業成長の背景

①建設後50年以上経過するインフラの割合



②措置を必要とするインフラの割合



橋 梁



トンネル



I	健 全
II	予防保全段階
III	早期措置段階
IV	緊急措置段階

構造物の機能に支障が生じていない状態

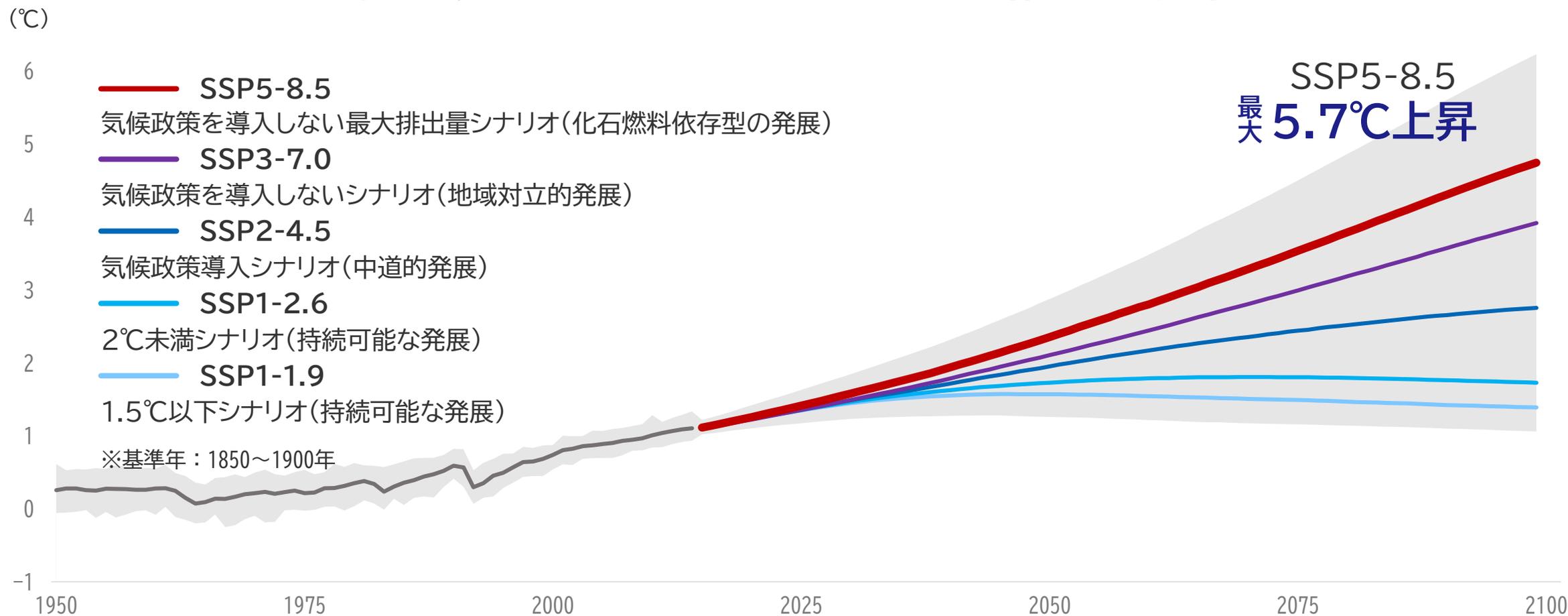
構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態

構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態

構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

③地球温暖化

地球温暖化に対応したインフラ整備の必要性大

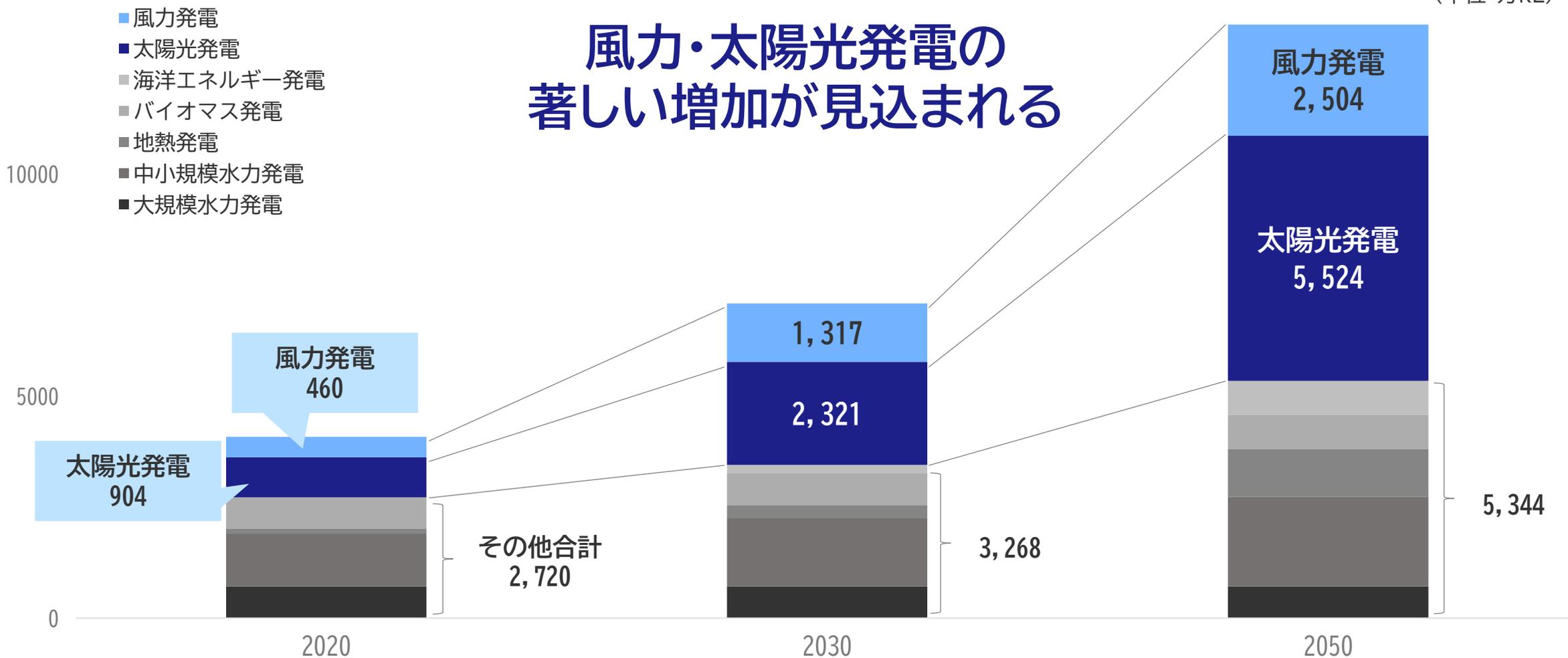


※IPCC第6次評価報告書を参考に当社作成



④再生可能エネルギーの導入見込量(一次エネルギー供給量)

(単位:万kL)



※環境省作成資料を参考に当社作成

⑤当社の主要災害対策製品

アテム(盛土・地盤補強材)



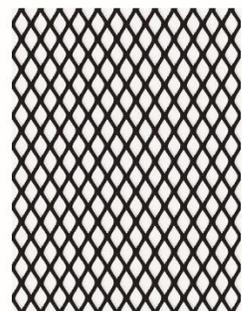
ツートンバッグ(耐候性大型土のう)



パワフルユニット・ボトルユニット(根固め用袋材)



ネイチャーネット(斜面保護資材)

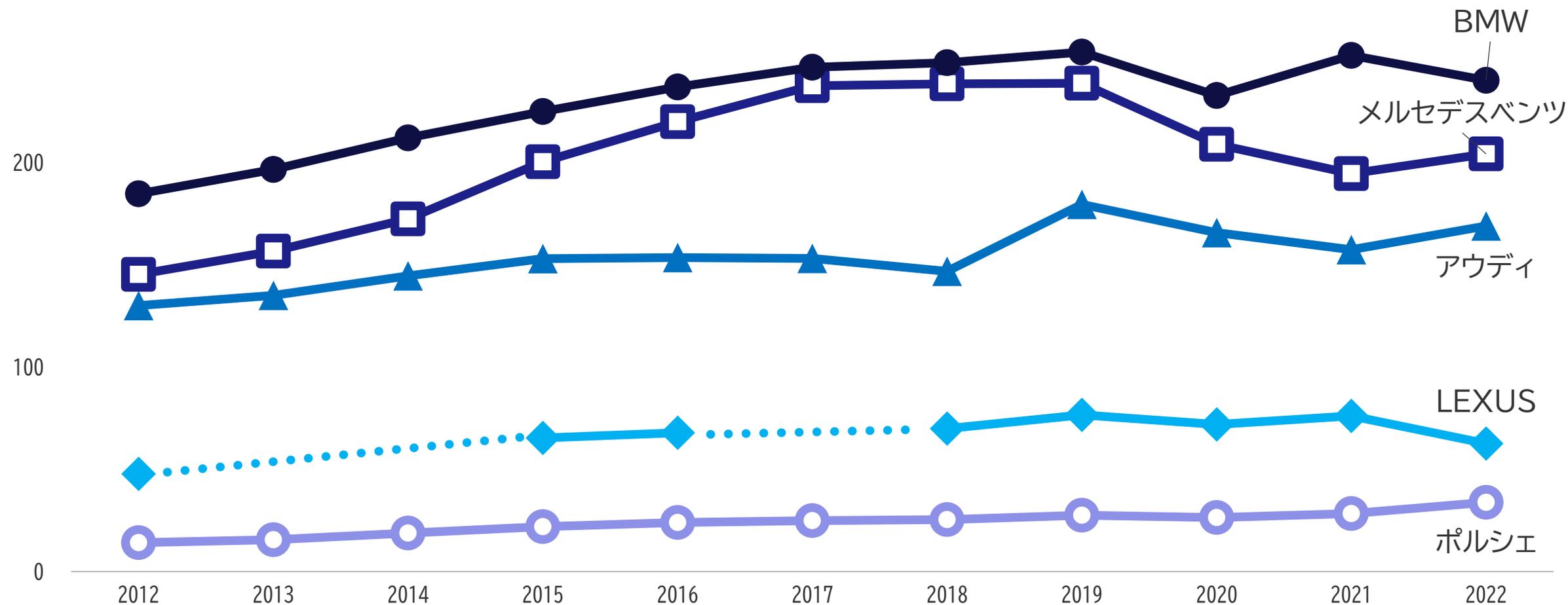


シビックマット(河川護岸用ブロックマット)



ホイール事業成長の背景

(万台) ①高級自動車主要メーカー別販売台数推移

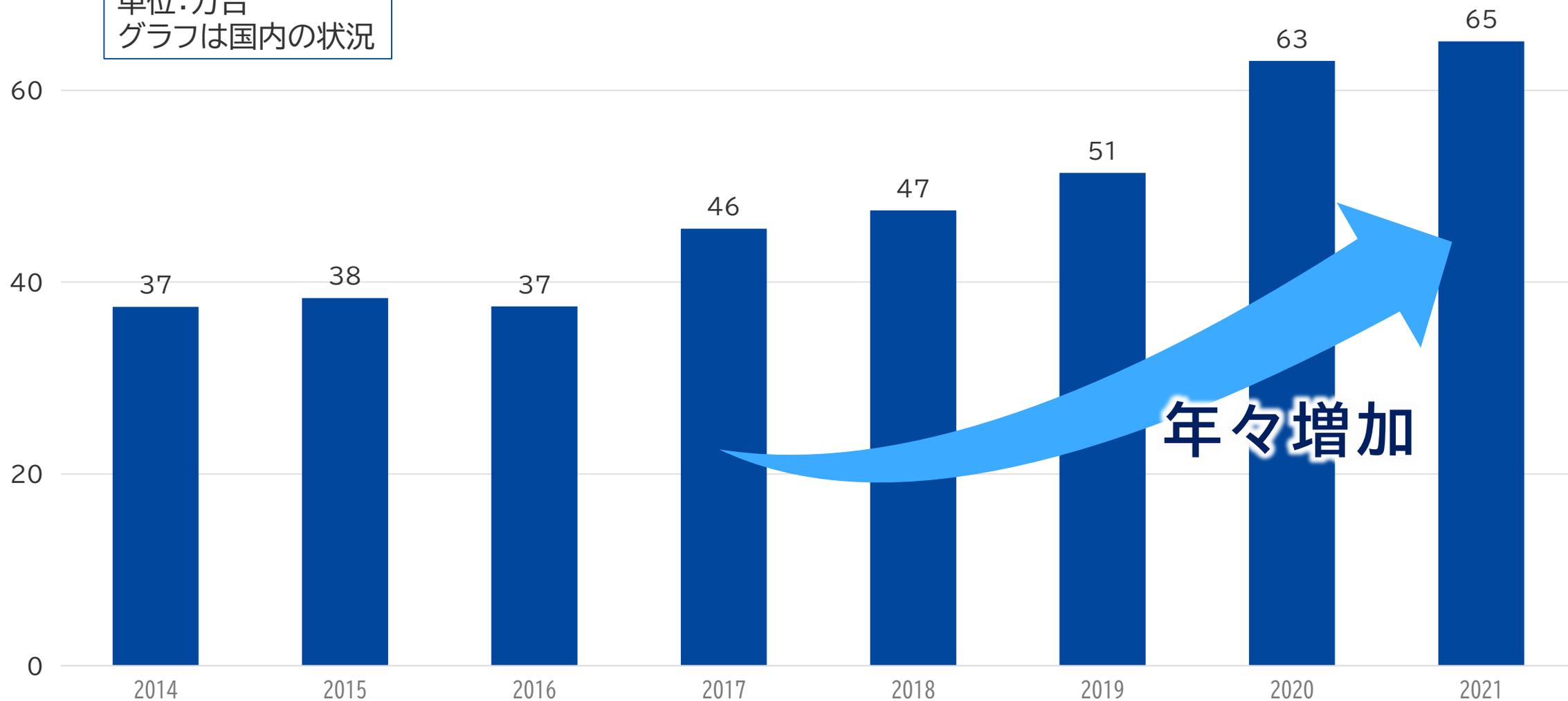


※公表資料を参考に当社作成



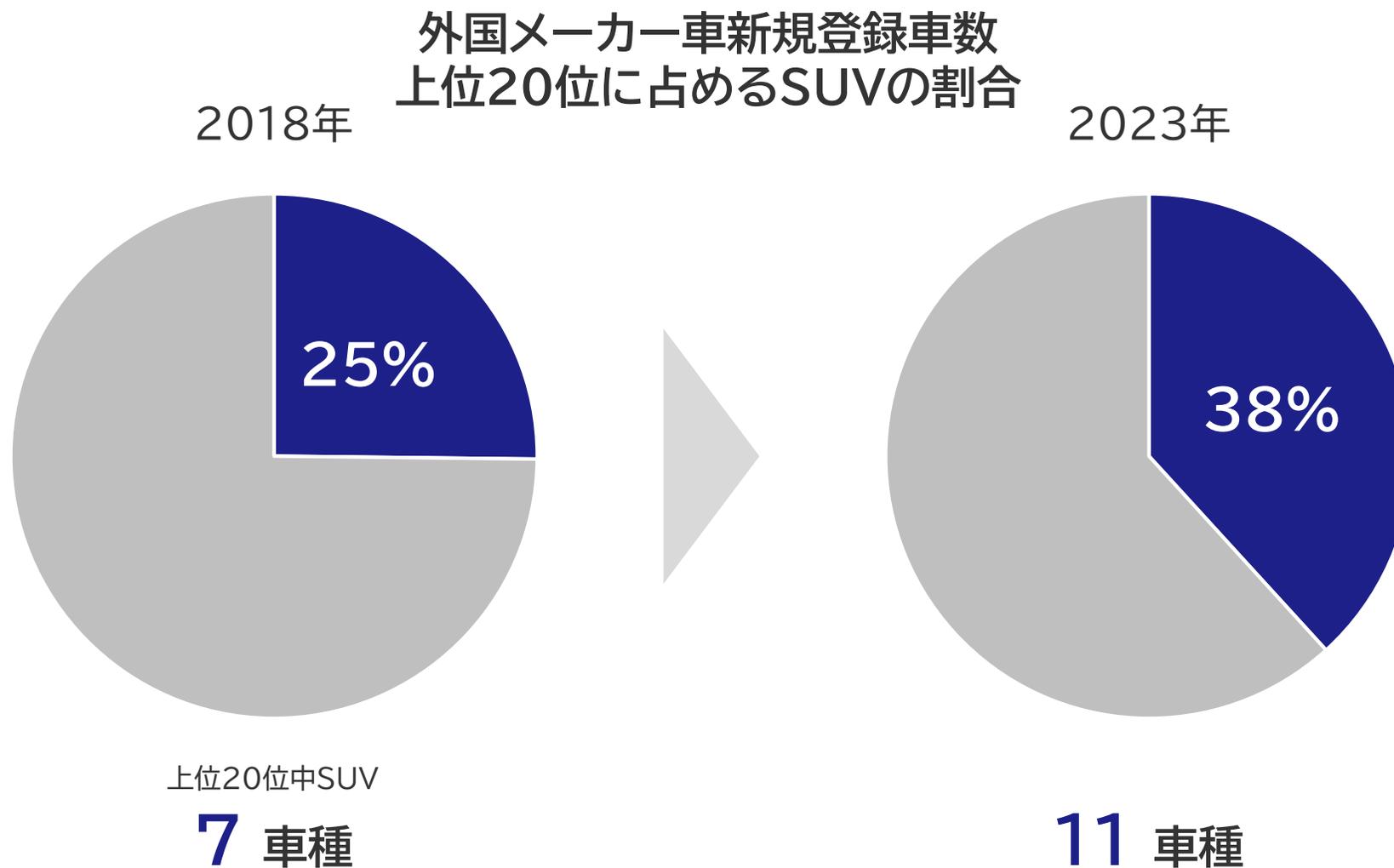
②SUV販売台数推移 - 登録車新車販売台数推移(国内)

単位:万台
グラフは国内の状況



(出所:一般社団法人日本自動車会議所)

③SUV販売台数(外国メーカー)



※ 一般社団法人日本自動車会議所「輸入車市場外国メーカー車モデル別新規登録台数順位」を参考に当社作成

数値目標(2024年6月期~2027年6月期)

	2023年6月期 実績	2024年6月期 実績	2025年6月期 計画	2027年6月期 計画
売上高	502 億円	558 億円	600 億円	700 億円
営業利益	84 億円	107 億円	112 億円	120 億円
EBITDA	116 億円	141 億円	145 億円	150 億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	52 億円	79 億円	77 億円	80 億円
ROE	12.4 %	15.1 %	12.3 %	12 %以上



7

会社概要

企業情報

(2024年6月30日現在)

会社名	前田工織株式会社		
本社	福井本社:福井県坂井市春江町沖布目38-3 東京本社:東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルA館12F		
代表者名	代表取締役会長 前田 征利 代表取締役社長 前田 尚宏		
創業	1918年	設立	1972年
決算	6月30日	資本金	3,472百万円
従業員数	1,575人(役員、嘱託・パート、実習生、派遣を含む)		
発行済株式数	34,040,306株(うち自己株式 41,343株)		
証券コード	7821(東京証券取引所プライム市場)		
単元株数	100株	株主総数	3,568名



グループ事業内容

ソーシャルインフラ事業

社会のインフラづくり 防災・減災



取扱製品

土木資材、建築資材、各種不織布、外壁用防水・保護・仕上げ材、
獣害対策製品、園芸用ハウス・農業資材、防衛省天幕・装備品、
フィッシュミール・魚油等

インダストリーインフラ事業

産業のインフラづくり 自動車ホイール・産業資材



取扱製品

自動車用高級鍛造ホイール、精密機器製造用ワイピングクロス、
各種繊維の加工、丸編製品等

前田工織グループ

ソーシャルインフラ事業



インダストリーインフラ事業



前田工織 は **混**ぜる会社です

「人」と「技術」を混ぜる会社です

混ぜると 化学反応が 起きるのです

「イノベーション」は化学反応の「果実」

世界一のイノベーターを目指し

社会のあるべき姿 人間のあるべき姿を

追い求めていきます

企業理念

基本理念

人と人との良いつながりが
すべての基本であり目標です。

経営理念

私たちは 独自の知恵と技術で
持続可能な地球 そして
安心・安全で豊かな社会を創るために
貢献してまいります。

行動理念【MDK五徳】と【仁】

【知行合一】

1. 人も企業も「真っ直ぐ」生きよう。

義

2. 失敗を恐れず、無限[∞]の可能性に挑戦しよう。

勇

3. 現場へ出て、本質を見抜き、本気で変えよう。

信

4. どこにもないモノを、どこにもない方法で、創り出そう。

智

5. 人も企業も学び続けよう。

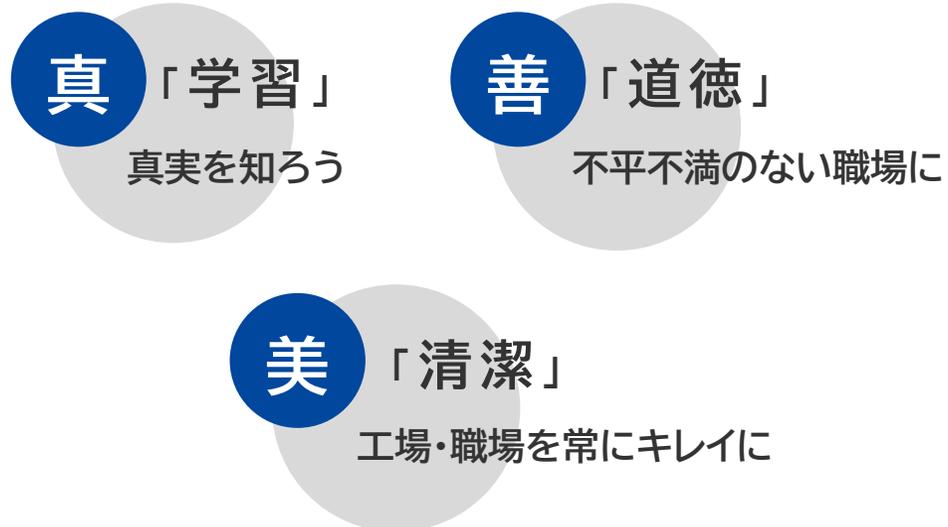
礼



行動指針・判断基準

行動指針

「真・善・美」の整った会社(組織)づくりへ

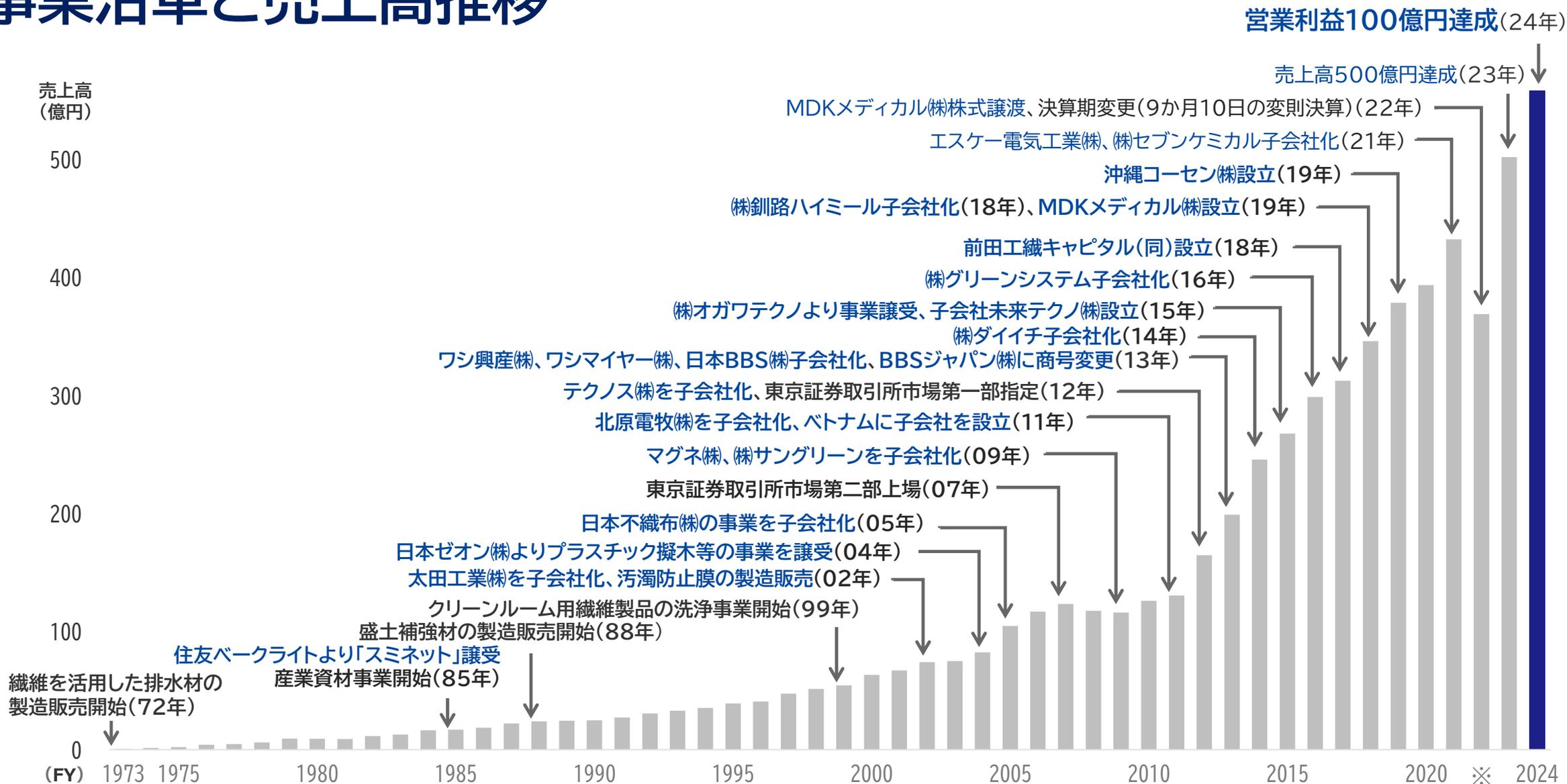


判断基準

「SSLQDC」～この優先順位で判断・行動しよう～

- 1 Safety** 人の安全と健康
- 2 Society** 地域社会への貢献
- 3 Law** コンプライアンス・法令順守・環境保全
- 4 Quality** 品質・信頼性
- 5 Delivery** 納期厳守
- 6 Cost** コスト削減

事業沿革と売上高推移



ネットワーク(国内)

前田工織(単体) 事業所:14拠点/工場:6ヶ所

福井県

福井本社・本社工場

丸岡工場
鯖江工場
坂井工場

未来コーセン
本社・福井工場
武生工場

北陸(福井除く)

新潟営業所
金沢営業所

BBSジャパン
本社・高岡工場
四日市工場

未来コーセン(株)
金沢工場

中国・四国

広島支店
岡山事務所
四国支店

九州・沖縄

福岡支店
鹿児島事務所

沖縄コーセン

中部・近畿

名古屋支店
大阪支店
西宮工場
能登川工場

東北

仙台支店
盛岡営業所

未来テクノ 工場

未来のアグリ 福島本社

関東

東京本社

未来テクノ 東京本社

セブンケミカル
本社
埼玉工場

BBSジャパン 東京本社

前田工織キャピタル合同会社 東京本社

北海道

札幌支店

未来のアグリ
札幌本社
千歳工場

釧路ハイミール 本社

● 事業所
★ 工場

ネットワーク(海外)



BBS Motorsport GmbH
BBSジャパン(株) ドイツ子会社



MAEDA KOSEN VIETNAM CO., LTD.
(前田工織ベトナム有限公司)



本資料お取り扱い上のご注意

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するにあたっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想ならびに将来予想は本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご了承ください。

本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先

前田工織株式会社 福井広報部

TEL:0776-51-9577 / URL:<https://www.maedakosen.jp>